

法人（事業所）理念	子どもたちがありのままの自分でいられるように、子どもたちがその子らしく生きていけるような基盤を乳幼児期に作っていききたい		
支援方針	子どもの持つ力を大切にして「たのしいあそび」の中で「ともだちへの関心・かかわり」を育て、育ちの土台を豊かにします。 その中で「うれしい」「いや」「たのしい」「くやしい」などの感情体験が、自分らしさを育て「とことこ」歩き出す（体と心の自立）を育てていきます。		
営業時間	9時00分 から 16時30分まで	送迎実施の有無	あり ・ なし
支援内容			
本人支援	人間関係 社会性	好きな遊び、一人遊びもたっぷりとおとなや友だちと遊ぶの楽しいね！ 自分の好きな遊びをたっぷり充分遊んだ先に、おとなや友だちとあそぶ楽しさを知っていきます。友だちと遊ぶと生まれる「ぼくの！」「わたしの！」という自己主張のぶつかり合いを大切にされ、ありのままの姿を受け入れられる安心感を育てていきます。その中で「信頼関係」「人間関係」の土台を育てていきます。	
	言語 コミュニケーション	「うれしい」「いや！」「たのしい」「くやしい！」…わらべうた、うた、ままごと、やりとりあそび、ケンカ、自己主張 遊びの中で生まれる様々な感情体験のなかで、自己主張が生まれます。そこにピッタリな言葉をかけられ、思いを受け入れられる経験をたっぷりした子どもたちは、伝え、伝わる経験をしていきます。	
	認知・行動	子どもの持つ力を大切にした「たのしいあそび」 …砂、水、泥、ごっこあそび、ルールのある遊び、お絵描き、カードゲーム、クッキングなど。 子どもが選んだ好きなあそびをめいっぱい楽しめます。そこからあそびの世界が広がったとき、興味・関心の種が生まれイメージする力、想像性が育ちます。あそびを通して自己主張生まれ、言葉で伝え、その気持ちを大切にされた先に、自己コントロールにつながる調整する力を育みます。	
	運動・感覚	「よくうごく体、よくうごく手」…砂、水、泥、ブランコ、揺れあそび、わらべうた、手遊び、鉄棒、追いかけて、お絵描き、のり、はさみなど 広い園庭で体いっぱい動かし遊びます。その中で体のバランス、体幹を使った動きを知っていきます。お部屋では手遊びや制作活動、おもちゃで手先を使って遊びます。楽しい！と自分で選んだあそびは体の発達も促します。	
	健康・生活	自分の体に起こった変化に気付く …「濡れた」「汚れた」「気持ちいい」「すっきりした」「おなかいっぱい」など。 よく遊んで、はっとしたら「濡れて気持ちが悪い。」「着替えたらすっきり。」体の変化に気づく働きかけをすることで、子ども自身が自分の体の感覚の変化に気づく力をはぐくみます。また給食の提供で、みんなと一緒に同じものを食べる経験から、おとなや友だちと楽しく食事を摂る雰囲気の中で、食事を摂る楽しさを知り、食の幅を広げていきます。家庭と連携して生活リズムを整え、とことこでたくさん遊べる体づくりをしていきます。	
家族支援	定期的にお子さんの育ち・発達を確認する面談や公認心理師による発達相談を行います。また、保護者同士の情報交換の場「とことこルーム」や保育参加日を実施しています。	移行支援	並行通園する母集団となるこども園・幼稚園・保育園との連絡、情報交換を積極的に行っています。お子さんの育ちにかかわる施設と連絡を密にすることで、包括的に育ちを追っていく事を大切にしています。
地域支援・地域連携	法人内の小規模保育園（なのはなガーデン、あおいガーデン）、姉妹園のおぞらキンダーガーデンとの交流を行っています。また、子どもが通う母集団への訪問を行い、連携を図っています。	職員の質の向上	法人内での学習会への参加、職員学習会を実施しています。外部研修は積極的にアナウンスをし、参加した場合は研修内容を周知する時間を設け、保育士全体の資質の向上に繋げています。